

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

845

観光支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光支援事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令			関連課	
			担当課・担当課長・Tel	観光課 谷 昌樹 435-1234

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	観光振興に寄与する団体に対する支援を行い、市外（県外）からの観光客誘致を図る。		市内各地域の観光協会や、観光振興に寄与する団体に支援を行うほか、民間事業者に対して観光コンテンツ造成への補助を行う。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助及び稼げる観光コンテンツ創出支援に対する補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助及び稼げる観光コンテンツ創出支援に対する補助

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	16,621	16,074	16,621	16,033	15,982	15,435	18,581	0	18,581	0
伸び率（%）	0%	0.3%	0%	△0.3%	△3.8%	△3.7%	16.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,741	6,051	5,761	5,606	5,815	6,050	6,208	0	0
	正規職員以外	1,489	1,489	1,449	1,449	1,483	1,483	0	0	0
	小計	7,230	7,540	7,210	7,055	7,298	7,533	7,691	0	0
国庫支出金	833	833	833	834	514	515	2,087	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,736	8,736	7,336	5,071	8,136	0	8,136	0	0	0
一般財源（税等）	7,052	6,505	8,452	10,128	7,332	14,920	8,358	0	18,581	0
所要人数（人）	正規職員	0.74	0.78	0.74	0.72	0.74	0.77	0.79	0.00	0.00
	正規職員以外	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.00	0.00
主な予算内訳	片男波海水浴場管理運営交付金 11,400千円、観光地保全管理事業補助金 2,888千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
支援件数		件	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	6	6	6		
			達成度(%)	85.7%	85.7%	85%	%	%
観客動員数		人	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
			実績値	450	1,180	80,000		
			達成度(%)	2.5%	6.6%	444%	%	%
市営片男波海水浴場利用者数		人	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
			実績値	167,921	183,419	147,781		
			達成度(%)	67.2%	73.4%	59.1%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	地域の観光協会や観光関連団体等との協働により、地域が主体となった魅力的な観光地づくりや誘客効果があり、かつ事業者にとっても稼げる観光コンテンツの充実を目指すことで、引き続き、観光客数の増加や観光消費額の増大につなげる。
見直し・改善内容	既存のコンテンツとの組合せなども視野に入れつつ、効果的な支援のあり方について今後検討していく。